

Q ルート作図ができない

A1 [座標補正]の長さピッチを小さくします

A2 レイヤーを「表示」に変更します

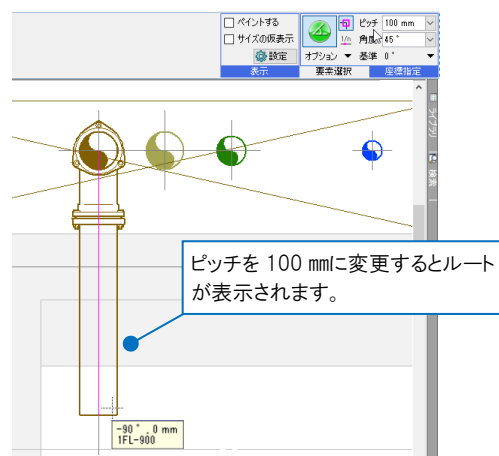
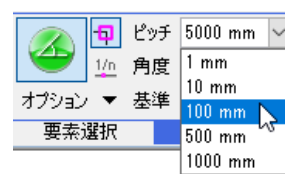
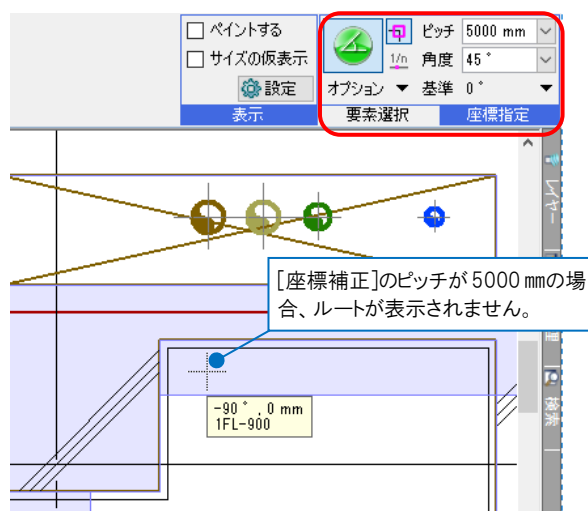
A3 高さをクリップ表示範囲内に変更します

A4 [フロアの表示/非表示]をレイヤー区分ごとに設定します

[ルート作図]で、ルートが表示されない場合の対応方法を説明します。

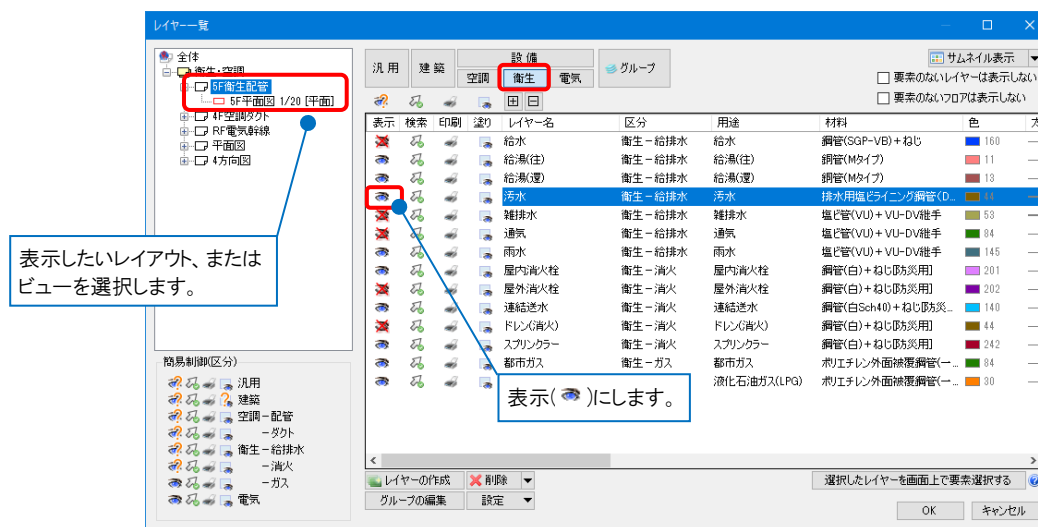
▼A1 [座標補正]の長さピッチを小さくします

画面の表示範囲に対して[座標補正]の[ピッチ]の値が大きすぎると、ルートが表示されません。ピッチの値を小さい値に変更すると、ルートが表示されます。



▼A2 レイヤーを「表示」に変更します

作図するレイアウト又は、ビューで、ルート作図で選択しているレイヤーが非表示になっていると表示されません。
[レイヤー一覧]でルート作図に使用しているレイヤーを、「表示」に変更します。

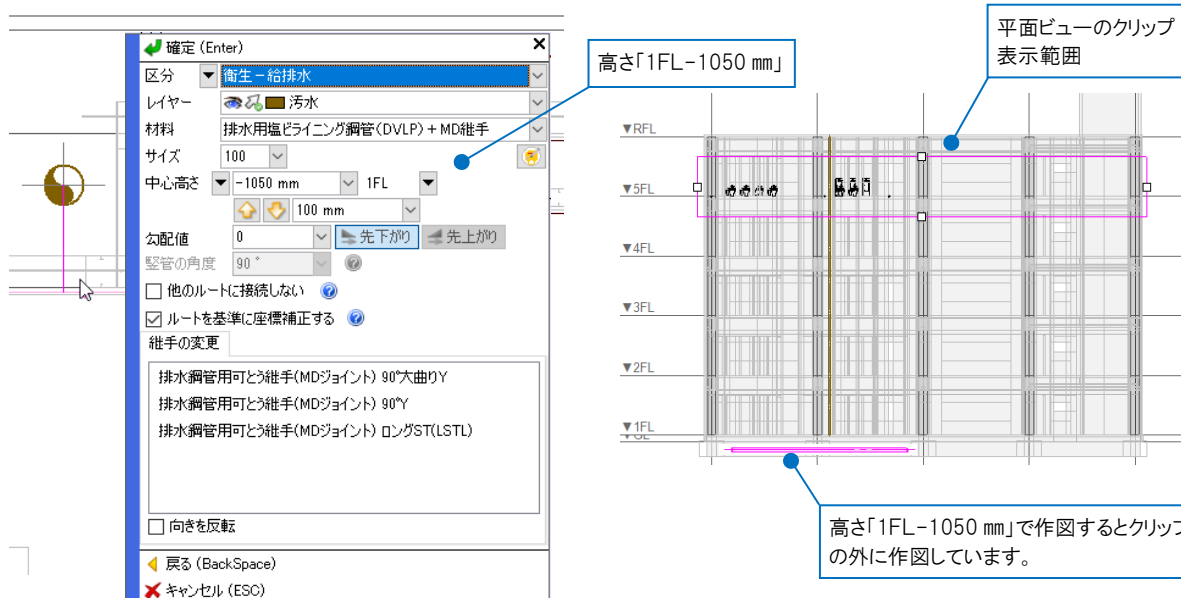
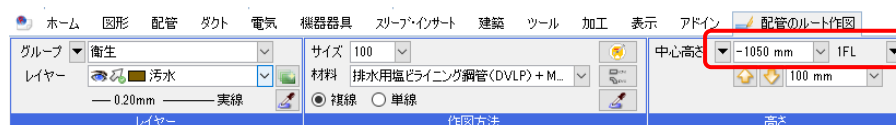


▼A3 高さをクリップ表示範囲内に変更します

1

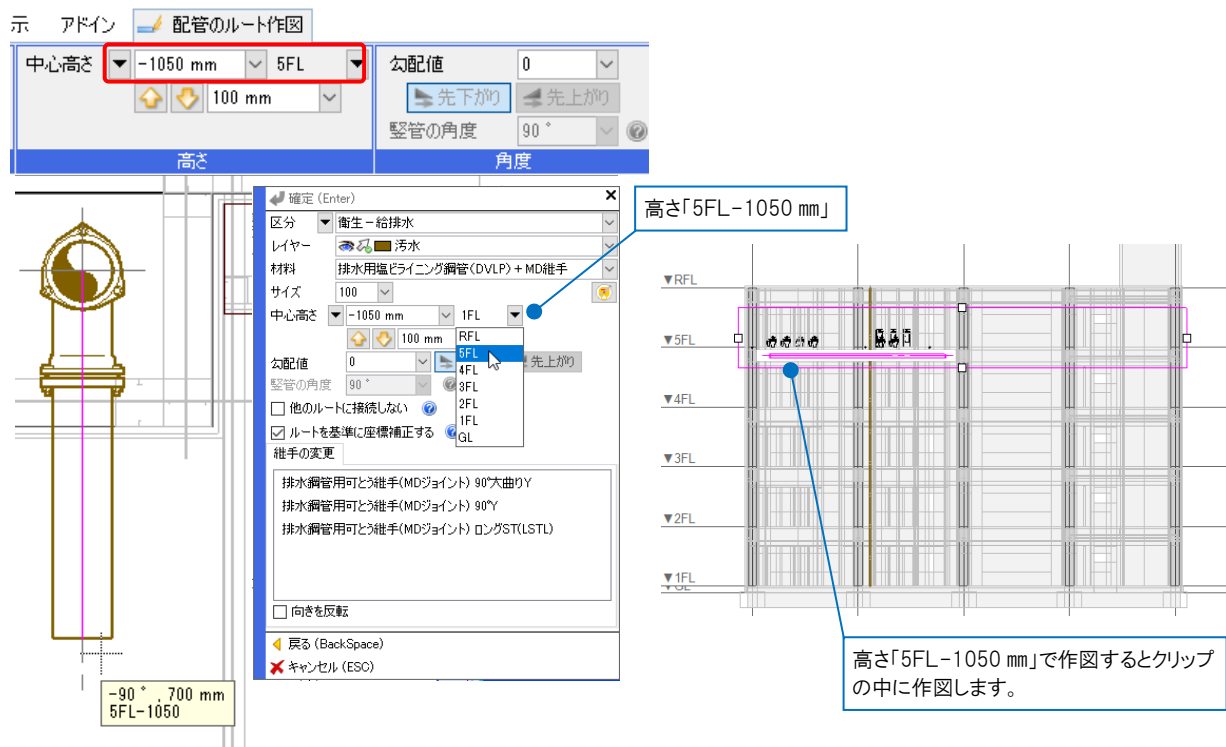
作図するルートがビューに設定されたクリップの範囲外を指定していると、ラバーは表示されますがルートは表示されません。

例えば、平面ビューに 4FL の天井から 5FL の天井までの範囲を表示するクリップを設定している場合、ルートの高さを「1FL-1050 mm」で作図すると、クリップ範囲外になるため、ルートは表示されません。



2

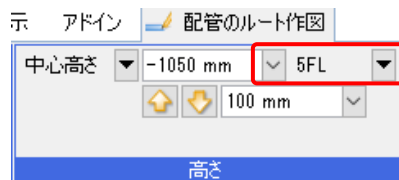
リボンまたはコンテキストメニューで高さをクリップの表示範囲内に切り替えると、ルートが表示されます。
高さを「5FL-1050 mm」に変更します。



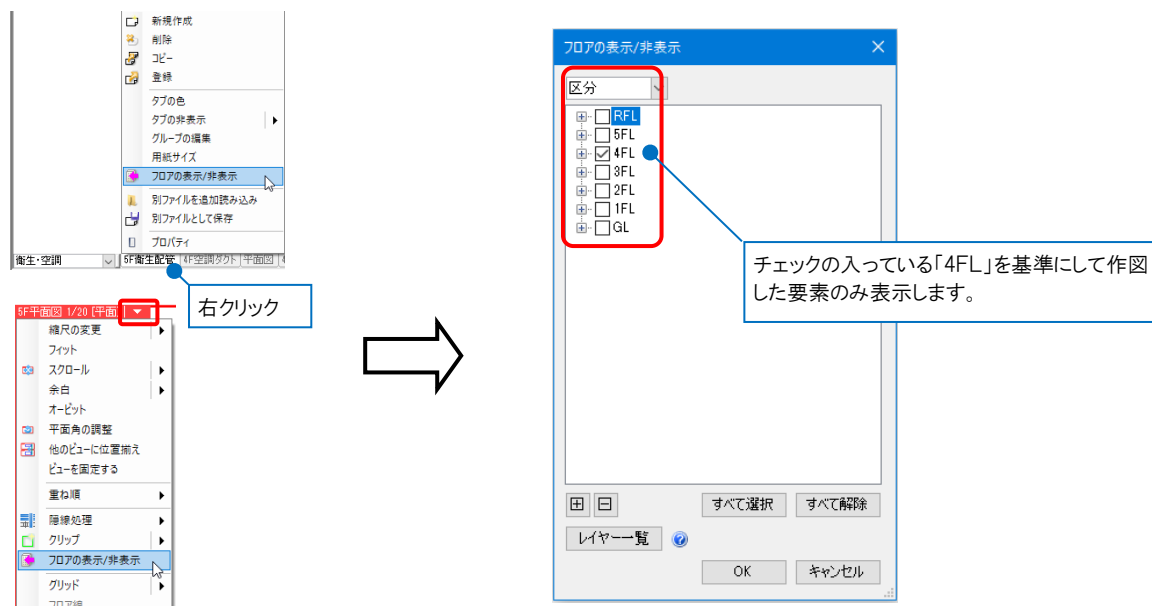
▼A4 [フロアの表示/非表示]をレイヤー区分ごとに設定します

1

例 4FL天井配管図に 5FLの床下配管を作図します。



[フロアの表示/非表示]はビューまたはレイアウトごとに、どのフロアを表示するかを指定できます。
レイアウトを右クリックし、コンテキストメニューの[フロアの表示/非表示]、
またはビュー名の横の[▼]をクリックし、[フロアの表示/非表示]を選択します。



2

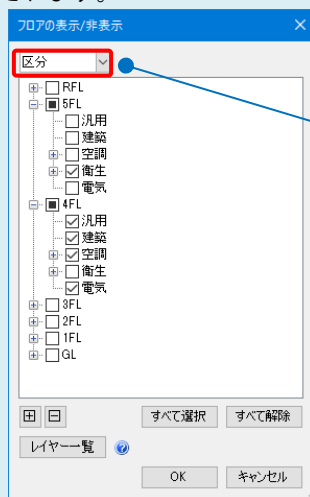
[フロアの表示/非表示]でレイヤー区分ごとに表示させたいフロアにチェックを入れます。



例えば 5FL の污水配管を表示する場合は、「5FL」の「衛生-給排水」のチェックを入れると表示されます。

●POINT

同一の階層内で、レイヤーの区分またはグループの表示/非表示が混在していると、フロアのチェック欄が「■」で表示されます。



レイヤーの表示を「区分」と「グループ」で切り替えができます。

レイヤー一覧の「フロア」で、レイヤー単位での[フロアの表示/非表示]の設定ができます。表示するフロアにチェックを入れます。

